

2018年（平成30年）4月11日（水曜日）

国会前から 県産果樹のエースに期待

記者席ノート

◇国会議事堂正面の庭園に本県の木として植えられているサクランボの花が咲き、県選出国會議員が10日、青空の下、恒例の授粉作業を行った。写真。



参院側に「紅さやか」と

「佐藤錦」、衆院側に「紅秀峰」と「佐藤錦」の4本

の木が植えられている。今年には暖かい日が続いたことから例年より2週間ほど早く開花。いずれも満開期は過ぎたものの、花はまだしっかりと開いており、鈴木憲和衆院議員（県2区）と舟山康江（県選挙区）、大沼瑞穂（同）の両参院議員が毛ばたきで丁寧に花粉を付け、豊作を願った。

順調に生育が進めば、収穫期は5月下旬から。3氏は「今年も収穫も楽しみましょう」と県産フルーツのエースの生育に期待を寄せていた。